

各学科の研究業績等（令和2年10月～令和3年9月）

人間科学科哲学分野

[著書]

- 1) 遠藤寿一（共著）：新版 薬学生のための医療倫理. 松島・宮島編. 丸善出版. (2021)
- 2) 遠藤寿一（翻訳）：再配分か承認か?:政治・哲学論争 第2版 (ナンシー・フレイザー, アクセル・ホネット著, 加藤泰史監訳). 法政大学出版局. (2021)

人間科学科法学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 廣瀬清英：初年次法学教育におけるWeb教材の効果的活用法. 岩手医科大学教養教育研究年報55：99-107 (2020)

[著書]

- 1) 廣瀬清英：安楽死と医療, 日本の医療を変えた医療訴訟『健康支援と社会保障制度①医療学総論』. 武田裕子, 大滝純司（編集）. メヂカルフレンド社. 242-251 (2020)
- 2) 廣瀬清英：医道審議会医師分科会「シームレスな医師養成に向けた共用試験の公的化といわゆるStudent Doctorの法的位置づけについて」. 年報医事法学36：215-220 (2021)

人間科学科心理学・行動科学分野

[学術論文（和文・原著）]

- 1) 相澤文恵, 佐々木亮平, 佐藤洋一：岩手医科大学版iPEGとマインドマップの多職種連携教育への応用, 岩手医科大学教養教育研究年報, 55：65-78 (2020)
- 2) 藤澤美穂, *小黑明日香, *高橋文絵, 氏家真梨子, 畠山秀樹, *高橋智幸：心理職による災害支援者支援に関する文献検討. 岩手医科大学教養教育研究年報. 55：79-90 (2020)
- 3) 藤澤美穂, 横田真理子, 松浦誠：がん治療における疼痛と苦痛の心理的評価指標に関する文献検討. 岩手医科大学教養教育研究年報. 55：91-97 (2020)
- 4) *藤信子, *安部康代, *高林健示, *長友敦子, *針生江美, 藤澤美穂：東日本大震災等の相互支援グループへの参加における体験過程－複線径路等至性モデル（TEM）による分析－. 集団精神療法. 37(1)：75-86 (2021)
- 5) 藤澤美穂, *小岩健祐, *後藤沙苗, *中谷敬明, *山田幸恵：震災から10年が経過した岩手より岩手県臨床心理士会の活動報告. 日本臨床心理士会雑誌. 30(1)：14-16 (2021)

[著書]

- 1) 相澤文恵：安井利一, 他編：新編 衛生学・公衆衛生学, p. 203-208, 医歯薬出版, (2021)
- 2) 相澤文恵：医療における社会・行動科学2021, 永代印刷. (2021)

[国内学会発表（一般講演）]

- 1) 相澤文恵, 木村祐輔, 内金崎智, 高橋広輝, 佐藤洋一: オンラインによる多職種連携教育ワークショップの試み, 第53回日本医学教育学会・学術大会, 日本医学教育学会公式ホームページWEB公開, 7月30日～8月31日.
- 2) 藤澤美穂: 災害後の多様な「持ち場」をグループの視点で考える, 日本集団精神療学会第38回学術大会, 2021年3月, Web開催.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 令和3年～6年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究 (C)
研究課題: 子どもの先天性難聴の遺伝学的検査の意味: 親の視点からどう捉えられているか
研究代表者: 山本佳世乃 研究分担者: 福島明宗, 小川有美子, 浦野真理, 相澤文恵
- 2) 令和2年～4年度 日本学術振興会: 科研費 若手研究
研究課題: 災害支援者支援に関わる心理職のキー・コンピテンシーの解明
研究代表者: 藤澤美穂
- 3) 令和2年～4年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究 (C)
研究課題: 唾液アミラーゼ活性は痛みの客観的指標となるか?
研究代表者: 松浦誠 研究分担者: 藤澤美穂
- 4) 藤澤美穂: 厚生労働省 令和2年度障害者総合福祉推進事業「精神障害者の心理的危機に対する早期対応や危機介入方法の普及と教育効果に関する検討」事業 (班長: 大塚耕太郎) 事業協力者
- 5) 相澤文恵: 日本口腔衛生学会査読委員
- 6) 相澤文恵: 岩手医科大学歯学会評議員
- 7) 相澤文恵: いわて東北メディカル・メガバンク機構臨床研究・疫学部門副部門長
- 8) 相澤文恵: 行動変容に関する理論, 生活習慣病予防に関する保健指導～歯の健康に関する保健指導～, 令和2年度特定健診・特定保健指導従事者研修会, 2020年12月, 盛岡市.
- 9) 相澤文恵: コミュニケーションの基礎演習, 令和2年度特定健診・特定保健指導従事者研修会, 2020年12月, 盛岡市.
- 10) 相澤文恵: ストレスとの上手な向き合い方, ビジネスにおけるリフレーミング, 株式会社寛文 幹部セミナー, 2020年12月, 二戸市.
- 11) 相澤文恵: ストレスとの上手な向き合い方, 株式会社寛文 一般社員セミナー, 2020年12月, 二戸市.
- 12) 藤澤美穂: 岩手県復興局「東日本大震災津波復興委員会女性参画推進専門委員会」委員
- 13) 藤澤美穂: 岩手県社会福祉協議会「被災者実態調査研究委員会」委員
- 14) 藤澤美穂: 日本臨床心理士会「研修企画検討プロジェクトチーム」委員
- 15) 藤澤美穂: 岩手県臨床心理士会 理事
- 16) 藤澤美穂: 日本集団精神療学会 相互支援委員会委員
- 17) 藤澤美穂: 現代行動科学会 理事
- 18) 藤澤美穂: 社会福祉法人盛岡いのちの電話 理事
- 19) 藤澤美穂: 仙台市精神保健福祉総合センター「ケース会議」講師
- 20) 藤澤美穂: 社会福祉法人盛岡いのちの電話「グループ研修」講師
- 21) 藤澤美穂: 岩手県里親会 里親交流研修会「喪失・トラウマ体験を抱えた子どもの心理～東日

- 本大震災被災者支援をふりかえりながら～」講師. 2020年12月. 盛岡.
- 22) 藤澤美穂：大船渡市役所 職員向けゲートキーパー養成研修「自分とまわりのいのちを守るために」講師. 2020年12月. 大船渡市.
- 23) 藤澤美穂：岩手県臨床心理士会 定例研修会「コロナ禍における臨床心理士のメンタルヘルス支援者のメンタルヘルス」講師. 2021年1月. Web開催.
- 24) *針生江美, *安部康代, *高林健示, *長友敦子, *藤信子, 藤澤美穂：東日本大震災等の相互支援グループ. 日本集団精神療法学会第38回学術大会. 大会企画ワークショップ. 2021年3月. Web開催.
- 25) 藤澤美穂：大日本住友製薬株式会社 クライシス・プランを学ぶ会 第1回 opening remarks, ディスカッション, closing remarks. 2021年7月. Web開催.
- 26) *五十嵐豪, 藤澤美穂：岩手県臨床心理士会 特別研修会「災害時における心理支援の心得－人道支援の国際基準 スフィアハンドブックを学ぶ」対談. 2021年9月. Web開催.
- 27) 藤澤美穂：岩手県立紫波総合高等学校 1年次講演会「自分の感情との上手なつきあい方」講師. 2021年9月. 紫波町.

人間科学科体育学分野

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Shuko, Takahashi., Kozo, Tanno., *Yuki, Yonekura., Haruki, Shimoda., Ryohei, Sasaki., Kiyomi, Sakata., Akira, Ogawa., Seiichiro, Kobayashi. : Effect of temporary housing on incidence of diabetes mellitus in survivors of a tsunami stricken area in 2011 Japan disaster: a serial cross sectional RIAS study. *Scientific Reports*. 10 : 15400. <https://doi.org/10.1038/s41598-020-71759-4> (2020)
- 2) *Fumi, Itabashi., *Takumi, Hirata., *Mana, Kogure., *Akira, Narita., *Naho, Tsuchiya., *Tomohiro, Nakamura., *Naoki, Nakaya., Ryohei, Sasaki., Nobuyuki, Takanashi., Kiyomi, Sakata., Kozo, Tanno., *Junichi, Sugawara., *Shinichi, Kuriyama., *Ichiro, Tsuji., *Shigeo, Kure., *Atsushi, Hozawa. : Combined associations of liver enzymes and obesity with diabetes mellitus prevalence: The Tohoku Medical Megabank Community-based Cohort Study. *Journal of Epidemiology*. <https://doi.org/10.2188/jea.JE20200384> (2020)
- 3) Yuka, Kotozaki., Kozo, Tanno., Kiyomi, Sakata., Eri, Takusari., Kotaro, Otsuka., *Hiroaki, Tomita., Ryohei, Sasaki., Nobuyuki, Takanashi., Takahiro, Mikami., *Atsushi, Hozawa., *Naoki, Nakaya., *Naho, Tsuchiya., *Tomohiro, Nakamura., *Akira, Narita., *Yasuyuki, Taki., Atsushi, Shimizu., Jiro, Hitomi., Mamoru, Satoh., Makoto Sasaki. : Association between the social isolation and depressive symptoms after the great East Japan earthquake: findings from the baseline survey of the TMM CommCohort study. *BMC Public Health* 21 : 925. <https://doi.org/10.1186/s12889-021-10896-5> (2021)
- 4) Noriko, Takebe., Kozo, Tanno., Hideki, Ohmomo., Mari, Hangai., Tomoyasu, Oda., Yutaka, Hasegawa., Nobuyuki, Takanashi., Ryohei, Sasaki., Atsushi, Shimizu., Akira, Sasaki., Kiyomi, Sakata., Makoto, Sasaki., Yasushi, Ishigaki. : Weight Gain after Age 20 Years Is Associated with Unfavorable Lifestyle Factors Contributing to Increased Incidence of Metabolic

Disorders. Diabetes, Metabolic Syndrome and Obesity: Targets and Therapy 2021 : 14 2065-2075 (2021)

- 5) Megumi, Tsubota-Utsugi., Yuki, Yonekura., Ruriko, Suzuki., Ryohei, Sasaki., Kozo, Tanno., Haruki, Shimoda., Akira, Ogawa., Seiichiro, Kobayashi., Kiyomi, Sakata. : Psychological distress in responders and nonresponders in a 5-year follow-up health survey: The RIAS Study. Journal of Epidemiology. <https://doi.org/10.2188/jea.JE20200617> (2021)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 田鎖愛理, 米倉佑貴, 下田陽樹, 丹野高三, 坪田 (宇津木) 恵, 佐々木亮平, 坂田清美, 小林誠一郎, 小川彰 : 東日本大震災被災地域住民における発災3年半後の主観的健康感とその関連要因. 岩手公衆衛生学会誌. 31(2) : 19-29 (2020)
- 2) 相澤文恵, 佐々木亮平, 佐藤洋一 : 岩手医科大学版iPEGとマインドアップの多職種連携教育への応用. 岩手医科大学教養教育年報. 55 : 65-78 (2020)
- 3) 小山薫, 佐々木亮平, 高橋健 : 本学学生の身体組成の現状 (II). 岩手医科大学教養教育年報. 55 : 109-114 (2020)
- 4) *久野純治, 坂田清美, 丹野高三, 坪田 (宇津木) 恵, 田鎖愛理, 下田陽樹, 高梨信之, 佐々木亮平, 小林誠一郎 : 東日本大震災被災地域の高齢者における新規転倒発生要因の検討 : RIAS study. 日本公衆衛生雑誌. 68(4) : 255-266 (2021)

[学術論文 (和文・その他)]

- 1) 坂田清美, 祖父江憲治, 酒井明夫, 小笠原邦昭, 大塚耕太郎, 石橋靖宏, 鈴木るり子, 滝川康裕, *西信雄, 小山耕太郎, *鈴木康司, 田中文隆, *米澤慎悦, 佐々木亮平, 下田陽樹 : 岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究. 厚生労働省行政推進調査事業費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究 (H25-健危-指定-001 (復興)) 令和2年度総括・分担研究報告書. 1-13 (2021)
- 2) 坂田清美, 祖父江憲治, 酒井明夫, *米澤慎悦, 佐々木亮平, 下田陽樹, *野原勝, *横山由香里, *米倉佑貴, 小野田敏行, 丹野高三, 坪田 (宇津木) 恵, 田鎖愛理, 高梨信之 : 令和2年度健診結果の概要. 厚生労働省行政推進調査事業費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究 (H25-健危-指定-001 (復興)) 令和2年度総括・分担研究報告書. 15-23 (2021)
- 3) 鈴木るり子, 佐々木亮平, 坂田清美, 下田陽樹, 坪田 (宇津木) 恵 : 被災高齢者の居住形態と住環境リスク : The RIAS Study. 厚生労働省行政推進調査事業費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究 (H25-健危-指定-001 (復興)) 令和2年度総括・分担研究報告書. 25-37 (2021)
- 4) 佐々木亮平 : 特集 東日本大震災 : 被災地の10年をふりかえる 東日本大震災後の陸前高田市におけるつながり続ける力. 日本在宅ケア学会誌. 25(1) : 6-12 (2021)

[著書]

- 1) 小山薫, 佐々木亮平 : 健康運動科学. 橋本印刷. 95pp. (2021)

[国内学会発表（全国・招聘講演等）]

- 1) 佐々木亮平, 坪田（宇津木）恵, 丹野高三, 下田陽樹, 高梨信之, 事崎由佳, *小澤沙希, *遠藤綾子, *岩室紳也, 坂田清美, 小林誠一郎：東日本大震災後の被災地地域における地域活動参加に関連する要因：The RIAS Study. 第79回日本公衆衛生学会（WEB開催）. 2020年10月. 京都市.
- 2) 坪田（宇津木）恵, *宮川尚子, 佐々木亮平, 鈴木るり子, 丹野高三, 下田陽樹, *西信雄, 坂田清美, 小林誠一郎：東日本大震災被災高齢者における居住形態と貧血発症の関連. 第79回日本公衆衛生学会（WEB開催）. 2020年10月. 京都市.
- 3) 事崎由佳, 丹野高三, 大塚耕太郎, 佐々木亮平, 高梨信之, 三上貴浩, 清水厚志, 坂田清美：岩手県における東日本大震災後の居住形態による社会的孤立の状況. 第79回日本公衆衛生学会（WEB開催）. 2020年10月. 京都市.
- 4) 丹野高三, *米倉佑貴, 高橋宗康, 高梨信之, 田鎖愛理, 坪田恵, 下田陽樹, 佐々木亮平, *大澤正樹, *板井一好, *小野田敏行, *栗林徹, *腰山誠, 坂田清美, *岡山明：地域在住高齢者のヘモグロビン濃度と要介護, 死亡との関連. 岩手県北地域コホート研究. 第79回日本公衆衛生学会（WEB開催）. 2020年10月. 京都市.
- 5) 坪田（宇津木）恵, 鈴木るり子, 佐々木亮平, 下田陽樹, 丹野高三, 小川彰, 小林誠一郎, 坂田清美：東日本大震災被災高齢者における発災から1年後の生活習慣の変化と虚弱発症との関連：The RIAS Study. 第31回日本疫学会（WEB開催）. 2021年1月. 佐賀市.

[国内学会発表（地方関係・一般講演）]

- 1) 鈴木るり子, 坪田（宇津木）恵, 佐々木亮平, 下田陽樹, 小川彰, 小林誠一郎, 坂田清美：被災高齢者の居住形態と住環境リスク：The RIAS Study. 第32回岩手公衆衛生学会. 2021年2月. 矢巾町.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 小山薫：令和元・2年度公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会 副委員長
- 2) 小山薫：令和元・2年度岩手県スポーツ指導者協議会 代議員
- 3) 小山薫：保健体育(実技実習). 令和2年度岩手看護専門学校「保健体育」講師. 2020年10～12月. 盛岡市.
- 4) 小山薫：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業第2回プロジェクトチーム会議 委員. 2020年11月. 盛岡市.
- 5) 小山薫：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業第3回プロジェクトチーム会議 委員. 2020年12月. 盛岡市.
- 6) 小山薫：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業第4回プロジェクトチーム会議 委員. 2021年2月. 盛岡市.
- 7) 小山薫：令和2年度一般社団法人日本体力医学会 評議員.
- 8) 平成30年～3年度 日本学術振興会：科学研究費 基盤研究（C）
研究課題：被災の回復期における虚弱の増悪・緩衝要因の解明と、地域特性に特化した予防活動
研究代表者：坪田恵 研究分担者：佐々木亮平
- 9) 令和元年～3年度 厚生労働省：科学研究費 健康安全・危機管理対策総合研究事業
研究課題：災害発生時の分野横断的かつ長期的なマネジメント体制構築に資する研究

- 研究代表者：尾島俊之 研究班協力者：佐々木亮平
- 10) 令和2年度 厚生労働省：科学研究費 健康安全・危機管理対策総合研究事業
研究課題：岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究
研究代表者：坂田清美 研究分担者：佐々木亮平
 - 11) 佐々木亮平：各地のAIDS文化フォーラムからの応援メッセージ。第10回AIDS文化フォーラム in 京都（WEB開催）報告者。2020年10月。京都市。
 - 12) 佐々木亮平：はまって かだつて つながつて ラブコミュニケーション講座。令和2年度岩手県立宮古商工高等学校「性教育講演会」講師。2020年10月。宮古市。
 - 13) 佐々木亮平：はまって かだつて つながつて ラブコミュニケーション講座。令和2年度宮古市思春期保健事業「岩手県立宮古高等学校保健講話」講師。2020年10月。宮古市。
 - 14) 佐々木亮平：令和2年度第1回岩手県循環器病対策推進協議会 委員。2020年11月。盛岡市。
 - 15) 佐々木亮平：令和2年度第1回岩手県自殺対策推進協議会 委員。2020年11月。盛岡市。
 - 16) 佐々木亮平：はまって かだつて つながつて ラブコミュニケーション講座。令和2年度大船渡市立末崎中学校「思春期講演会」講師。2020年11月。大船渡市。
 - 17) 佐々木亮平：はまって かだつて つながつて ラブコミュニケーション講座。令和2年度大船渡市立大船渡中学校「思春期講演会」講師。2020年11月。大船渡市。
 - 18) 佐々木亮平：令和2年度第2回岩手県循環器病対策推進協議会（書面開催）委員。2020年11月。盛岡市。
 - 19) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的マネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 令和2年度第2回班会議（WEB開催）研究協力者。2020年12月。三条市。
 - 20) 佐々木亮平：令和2年度第2回岩手県自転車活用推進計画検討委員会（書面開催）委員。2020年12月。盛岡市。
 - 21) 佐々木亮平，*岩室紳也：はまって かだつて つながつて。令和2年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田東中学校「思春期はまかだ教室」講師。2020年12月。陸前高田市。
 - 22) 佐々木亮平，*岩室紳也：はまって かだつて つながつて。令和2年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市立高田第一中学校「思春期はまかだ教室」講師。2020年12月。陸前高田市。
 - 23) 佐々木亮平，*岩室紳也：令和2年度陸前高田市思春期保健事業 子育て支援おやこの広場きらりんきっず「思春期はまかだ教室」講師。2020年12月。陸前高田市。
 - 24) 佐々木亮平，*岩室紳也：令和2年度陸前高田市思春期保健事業 陸前高田市保育会「思春期はまかだ教室」講師。2020年12月。陸前高田市。
 - 25) 佐々木亮平：有事及び平時における健康運動指導者に求められる役割の解放～東日本大震災から10年 陸前高田市の経験に学ぶ～ 令和2年度健康づくりのための運動指導者講習会 講師。2020年12月。盛岡市。
 - 26) 佐々木亮平：災害発生時の保健活動～東日本大震災から10年，陸前高田市の経験に学ぶ～。令和2年度秋田大学医学部保健学科看護学専攻地域看護管理論 講師。2020年12月。秋田市。
 - 27) 佐々木亮平：その先の未来へ～京都から10年 東日本大震災から10年～。AIDS文化フォーラム in 京都10周年記念誌 報告書作成。2021年1月。京都市。
 - 28) 佐々木亮平：令和2年度第3回岩手県自転車活用推進計画検討委員会（書面開催）委員。2021年1月。盛岡市。
 - 29) 佐々木亮平：令和2年度第3回岩手県循環器病対策推進協議会 委員。2021年2月。盛岡市。

- 30) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的マネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 令和2年度第3回班会議（WEB開催）研究協力者。2021年2月。三条市。
- 31) 佐々木亮平：令和2年度第5回秋田市学校適正配置南部地域ブロック協議会 委員。2021年2月。秋田市。
- 32) 佐々木亮平：広がるAIDS文化フォーラム AIDS文化フォーラム広域連携会議（WEB開催）運営委員。2021年3月。横浜市。
- 33) 佐々木亮平：科学研究費補助金（挑戦的研究（萌芽）19K22739）災害シチズンサイエンス研究手法の開発（研究代表者：石橋みゆき）自然災害からの回復・復興と災害に強い地域づくりに向けた住民と支援者のパートナーシップ形成過程の明確化－災害シチズンサイエンス研究手法の開発に向けて－（WEB開催）研究協力者。2021年3月。千葉市。
- 34) 佐々木亮平：令和2年度岩手県健康いわて21プラン推進協議会（書面開催）委員。2021年3月。盛岡市。
- 35) 佐々木亮平：災害時の看護活動～東日本大震災から10年，陸前高田市の経験に学ぶ～。令和3年度慶應義塾大学看護医療学部地域看護学分野公衆衛生看護管理展開論 健康危機管理（WEB開催）講師。2021年4月。藤沢市。
- 36) 佐々木亮平：厚生労働科学研究「災害発生時の分野横断的かつ長期的マネジメント体制構築に資する研究」－避難所・在宅者等の情報把握・支援の検討－ 令和2年度報告書作成 研究協力者。2021年4月。三条市。
- 37) 佐々木亮平：特定非営利活動法人きらりんきつず令和3年度通常総会（書面開催）正会員。2021年5月。陸前高田市。
- 38) 佐々木亮平：令和3年度第1回公益財団法人盛岡市スポーツ協会評議員会 評議員。2021年6月。盛岡市。
- 39) 佐々木亮平：令和3年度第1回日本体力医学会東北地方会幹事会（WEB開催）幹事。2021年6月。山形市。
- 40) 佐々木亮平：災害時の運動と心のケア。令和3年度岩手県立不来方高等学校体育学系スポーツ医・科学講座 講師。2021年6月。矢巾町。
- 41) 佐々木亮平：令和3年度第1回公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会（WEB開催）副委員長。2021年6月。盛岡市。
- 42) 佐々木亮平：東日本大震災における陸前高田市の保健活動記録 つながる力 再認識を。岩手日報 災誌 from3.11 伝える課題と教訓7。2021年6月。盛岡市。
- 43) 佐々木亮平：令和3年度岩手県自殺対策推進協議会 委員。2021年7月。盛岡市。
- 44) 佐々木亮平：宮城大学大学院看護学研究科博士前期課程 東日本大震災の急性期に活動した外部支援者の撤退後に市町村保健師が復興に向けた活動で経験した困難と対処 研究協力者。2021年7月。東松島市。
- 45) 佐々木亮平：各地のAIDS文化フォーラムからの応援メッセージ。第28回AIDS文化フォーラム in 横浜（WEB開催）報告者。2021年8月。横浜市。
- 46) 佐々木亮平：令和3年度第1回陸前高田市はまかだ運動推進会議（WEB開催）アドバイザー。2021年8月。陸前高田市。
- 47) 佐々木亮平：令和3年度社会福祉法人大空会第1回評議員会 評議員。2021年9月。秋田市。
- 48) 佐々木亮平：令和3年度第4回岩手県循環器病対策推進協議会（書面開催）委員。2021年9月。

盛岡市.

- 49) 佐々木亮平：特定非営利活動法人福祉フォーラム・東北 理事 (2011年～)
- 50) 佐々木亮平：陸前高田市はまかだ運動推進アドバイザー (2018年～)
- 51) 佐々木亮平：社会福祉法人大空会 評議員 (2017年～)
- 52) 佐々木亮平：秋田市学校適正配置地域ブロック協議会 委員 (2019年～2021年)
- 53) 佐々木亮平：一般社団法人日本公衆衛生学会広報/eラーニング委員会 委員 (2020年1月～2021年9月)
- 54) 佐々木亮平：特定非営利活動法人日本健康運動指導士会岩手県支部 理事 (2020年4月～2021年3月)
- 55) 佐々木亮平：特定非営利活動法人日本健康運動指導士会岩手県支部 支部長 (2021年4月～2022年3月)
- 56) 佐々木亮平：公益財団法人盛岡市スポーツ協会 評議員 (2020年6月～2023年3月)
- 57) 佐々木亮平：岩手県健康いわて21プラン推進協議会 委員 (2020年7月～2022年6月)
- 58) 佐々木亮平：日本体力医学会東北地方会 幹事 (2020年9月～2022年8月)
- 59) 佐々木亮平：岩手県自殺対策推進協議会 委員 (2020年8月～2022年7月)
- 60) 佐々木亮平：岩手県自転車活用推進計画検討委員会 委員 (2020年8月～2021年3月)
- 61) 佐々木亮平：特定非営利活動法人きらりんきっず 正会員 (2021年4月～2022年3月)
- 62) 佐々木亮平：公益財団法人岩手県体育協会スポーツ医・科学委員会 副委員長 (2021年6月～2023年3月)
- 63) 佐々木亮平：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業プロジェクトチーム 委員 (2021年6月～2023年3月)

外国語学科英語分野

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) Hobbs, J. : Sowing the seeds of CLIL in a Japanese medical school – The story of Skills Lab English. Symposium & Workshop: The praxis of teaching, learning, and assessment with CEFR and CLIL. Oct. 2020. (Online.)

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 令和2年～令和4年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究 (C)
研究課題：医療系学生のためのG. グリーン文学の応用研究
研究代表者：柳谷千枝子
- 2) ジェイムズ・ホブズ：令和3年度第1回「教育の国際化」に至る講話「イギリス50分の旅ー日本在住30年のイギリス人がガイドする」 講師. 江南義塾高等学校. 2021年6月.
- 3) ジョナサン・レヴィン小倉：第18回全学教育推進機構FD講習会. ティーチング・ポートフォリオ活用研修. 2020年10月. 矢巾.
- 4) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 副会長
- 5) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語学会学術集会 総括委員長
- 6) ジョナサン・レヴィン小倉：全国看護英語教育学会 月刊Newsletter 編集長

- 7) ジョナサン・レヴィン小倉：Nursing English Nexus 査読者
- 8) ジェイムズ・ホップス：日本医学英語教育学会 評議員
- 9) ジェイムズ・ホップス：全国看護英語教育学会 評議員
- 10) ジェイムズ・ホップス：Journal of Medical English Education 編集委員
- 11) ジェイムズ・ホップス：The Language Teacher 査読者
- 12) ジェイムズ・ホップス：Nursing English Nexus 査読者

情報科学科数学分野

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Ejiri, S., Ohba, H., Sasaki, T.: Statistical errors in X-ray triaxial stress analysis by $\cos \alpha$ method. Materials Science Forum, 1016 : 423-428 (2021)
- 2) Hasegawa, M., Kabata, Y., and Saji, K.: Capturing information on curves and surfaces from their projected images, Int. J. of Math. for Industry, Vol. 12 (2020)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 江尻正一, 大場宏明, 佐々木敏彦：二次元検出器を用いた新しいX線応力測定・材料評価技術 2D法および $\cos \alpha$ 法によるX線応力測定の基礎理論とその違い, 非破壊検査, 69 : 575-580 (2020)

[国際学会発表 (招聘講演等)]

- 1) Ejiri, S., Ohba, H., Sasaki, T.: Statistical errors in X-ray triaxial stress analysis by $\cos \alpha$ method. THERMEC' 2021, June, Vienna (on line)

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 江尻正一, 大場宏明, 佐々木敏彦： $\cos \alpha$ 法によるX線の弾性定数測定のばらつき評価, 2021年度非破壊検査総合シンポジウム, 6月, 東京 (オンライン)
- 2) 佐々木敏彦, 江尻正一： $\cos \alpha$ 法の適用範囲の拡張 (面内・面外応力勾配及び曲面の測定), 2021年度非破壊検査総合シンポジウム, 6月, 東京 (オンライン)

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 平成28年～令和2年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究 (A)
研究課題：高精度二次元計測デバイリングによるレールの転動接触疲労の予兆解明
研究代表者：佐々木敏彦 研究分担者：江尻正一
- 2) 令和3年～令和8年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究 (B)
研究課題：SOI式超高速X線イメージングによるレールの初期転動接触疲労の実態解明
研究代表者：佐々木敏彦 研究分担者：江尻正一
- 3) 令和3年～令和5年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究 (C)
研究課題：特異点を持つ輪郭線および特異点を持つ曲面の輪郭線の幾何学
研究代表者：長谷川大

- 4) 江尻正一：(公社) 日本材料学会「X線材料強度部門委員会」委員
- 5) 江尻正一：(一社) 日本非破壊検査協会「 $\cos a$ 法方式X線残留応力測定法研究会」委員, 幹事
- 6) 江尻正一：(一社) 日本非破壊検査協会「 $\cos a$ 法によるX線応力測定通則 制定原案作成委員会」委員
- 7) 江尻正一：学術奨励賞 (一社) 日本非破壊検査協会 (2021年 6月)

情報科学科医用工学分野

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Miyoshi, K., Wada, T., Uwano, I., Sasaki, M., Saura, H., Fujiwara, S., Takahashi, F., *Tsushima, E., Ogasawara, K.: Predicting the Consistency of Intracranial Meningiomas Using Apparent Diffusion Coefficient Maps Derived from Preoperative Diffusion-weighted Imaging. *Journal of Neurosurgery*. doi: 10.3171/2020.6.JNS20740. (2020)
- 2) *Shigeta, S., *Shida, M., *Nagase, S., *Ikeda, M., Takahashi, F., *Shibata, F., *Yamagami, W., *Katabuchi, H., *Yaegashi, N., *Aoki, D., *Mikami, M.: Epidemiological Guideline Influence on the Therapeutic Trend and Patient Outcome of Uterine Cervical Cancer in Japan: Japan Society of Gynecologic Oncology Guideline Evaluation Committee Project. *Gynecologic Oncology*. 159 : 248-255. (2020)
- 3) Ishida, M., Takahashi, F., Goto, I., *Niiyama, M., *Saitoh, H., *Sakamoto, T., *Maegawa, Y., *Osaki, T., *Nishiyama, O., *Endo, K., *Sakamoto, R., *Kojima, T., Koeda, Y., Itoh, T., Morino, Y.: Clinical outcomes of patients treated with very short duration of dual antiplatelet therapy after implantation of biodegradable-polymer drug-eluting stent: Rationale and design of a prospective multicenter REIWA registry. *Cardiovascular Intervention and Therapeutics*. 35 : 398-404. (2020)
- 4) Iwaya, T., Endo, F., Takahashi, F., Tokino, T., Sasaki, Y., Nishizuka, S.: Frequent tumor burden monitoring of esophageal squamous cell carcinoma with circulating tumor DNA using individually designed digital PCR. *Gastroenterology*. 160 : 463-465. (2021)
- 5) Ishida, M., Terashita, D., Itoh, T., *Otake, H., Tsukiyama, Y., Kikuchi, T., Hayashi, T., Suzuki, T., Ito, Y., Morita, T., Hibi, K., Sawada, T., Okamura, T., Shite, J., Takahashi, F., Shinke, T., Morino, Y.: Vascular response occurring at 3 months after everolimus-eluting cobalt-chromium stent implantation in patients with ST-segment elevation myocardial infarction versus stable coronary artery disease. *Circulation Journal*. 84 : 1941-1948. (2020)
- 6) *Takekuma, M., Takahashi, F., *Mabuchi, S., *Kudaka, W., *Horie, K., *Ikeda, M., *Shikama, A., *Mitsubishi, A., *Nagao, S., *Suzuki, S., *Mizuno, M., *Nishio, S., *Tokunaga, H., *Ota, Y., *Kasamatsu, T., *Kitagawa, R., *Toita, T., *Kobayashi, H., *Ishikawa, M., *Yaegashi, N.: Propensity score-matched analysis of systemic chemotherapy versus hysterectomy for residual cervical disease after definitive radiotherapy/concurrent chemoradiotherapy. *BMC cancer*. doi: 10.1186/s12885-020-07672-w. (2020)
- 7) *Nagase, S., *Ohta, T., Takahashi, F., *Yaegashi, N.: Annual Report of the committee on gynecologic oncology, the Japan society of obstetrics and gynecology; annual patient report

- for 2017 and annual treatment report for 2012. The journal of obstetrics and gynecology research. 47 : 1631-1642. doi: 202110.1111/jog.14724. (2021)
- 8) *Watanabe, K., *Toi, Y., *Nakamura, A., Chiba, R., Akiyama, M., *Sakakibara, J., *Tanaka, H., *Yoshimura, N., *Miyachi, E., *Nakagawa, T., *Igusa, R., *Minemura, H., *Mori, Y., *Fujimoto, K., *Matsushita, H., Takahashi, F., *Fukuhara, T., *Inoue, A., *Sugawara, S., Maemondo, M.: Randomized phase II trial of uracil/tegafur and cisplatin versus pemetrexed and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced unresectable stage III non-squamous non-small cell lung cancer: NJLGC1001. Translational Lung Cancer Research. 10(2) : 712-722. doi: 10.21037/tlcr-20-721. (2021)
 - 9) Saito, D., Shiga, K., Katagiri, K., Oikawa, S., Ikeda, A., Tsuchida, K., Miyaguchi J., Kusaka, T., Kuroda, H., Takahashi, F.: Contrast-Enhanced Ultrasonography for the Differential Diagnosis of Pleomorphic Adenomas and Warthin Tumors in Salivary Glands. Laryngoscope Investigative Otolaryngology. 6 : 425-431. doi: 10.1002/lio2.565. (2021)
 - 10) Saikawa, H., Nagashima, H., Cho, K., Chiba, R., Sera, K., Shigeeda, W., Tomoyasu, M., Deguchi, H., Takahashi, F., Saito, H., Sugai, T., Maemondo, M.: Relationship between trace element in tumor and prognosis in lung cancer patients. Medicina. doi: 10.3390/medicina57030209. (2021)
 - 11) Shiga, K., *Nibu, K., *Fujimoto, Y., *Asakage, T., *Homma, A., *Mitani, H., *Ogawa, T., *Okami, K., *Murono, S., *Hirano, S., *Ueda, T., *Hanai, N., *Tsukahara, K., *Ota, I., *Yoshimoto, S., *Shinozaki, T., *Iwae, S., Katagiri, K., Saito, D., *Kiyota, N., *Tahara, M., Takahashi, F., *Hayashi, R.: Sites of invasion of cancer of the external auditory canal predicting oncologic outcomes. Head and Neck. doi: 10.1002/hed.26800. (2021)
 - 12) *Fujii, M., *Kobayakawa, M., *Saito, K., *Inano, A., *Morita, A., *Hasegawa, M., *Mukasa, A., *Mitsuhara, T., *Goto, T., *Yamaguchi, S., *Tamiya, T., *Nakatomi, H., *Oya, S., Takahashi, F., *Sato, T., *Bakhit, M. and BeatNF2 Trial Investigators.: Rationale and Design of BeatNF2 trial: A Clinical Trial to Assess the Efficacy and Safety of Bevacizumab in Patients with Neurofibromatosis Type 2 Related Vestibular Schwannoma. Current Oncology 28(1) : 726-739. (2021)

[学術論文 (和文・その他)]

- 1) 野呂影勇, 能登裕子, 伊部亜希, 小野保, 戸上英憲, 中川翔: 第2回看護人間工学会学術大会教育講演「気軽に実験しませんか」. 看護人間工学会誌. 2 : 15-36 (2020)

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) *Machida, H., *Matsuo, K., *Kobayashi, Y., *Momomura, M., Takahashi, F., *Tabata, T., *Kondo, E., *Yamagami, W., *Ebina, Y., *Kaneuchi, M., *Nagase, S., *Mikami, M.: Significance of histology and nodal status on the survival of women with early-stage cervical cancer: Validation of the 2018 FIGO cervical cancer staging system. International Gynecologic Cancer Society. 2021 Aug 30 - Sep 2, Roma, Italy+Virtual.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 小野保, 菖蒲澤幸子: 看護基礎教育における情報セキュリティおよび情報倫理教育内容の検討

－医療情報基礎知識検定試験と情報処理技術者試験の内容から－. 第22回日本医療情報学会看護学術大会. 2021年7月. 盛岡.

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) 小野保：センサーを用いた生体信号測定装置の製作と看護研究への応用. 日本人間工学会 安全人間工学委員会・東北支部 共催研究会「医療・看護と人間工学」講演（招聘講演）, 2021年3月20日, オンライン.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 令和元年～令和3年度 日本医療研究開発機構：生物統計家育成支援事業
研究課題：京都大学大学院における臨床統計家育成のための教育カリキュラムの標準化のための研究開発
研究代表者：佐藤俊哉 研究協力者：高橋史朗
- 2) 令和元年～令和3年度 日本医療研究開発機構：新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
研究課題：思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18 陽性割合の推移に関する長期疫学研究
研究代表者：松本光司 研究分担者：高橋史朗
- 3) 令和元年～令和3年度 日本医療研究開発機構：臨床研究・治験推進研究事業
研究課題：神経線維腫症Ⅱ型に対するペバシズマブの有効性及び安全性を検討する多施設共同二重盲検無作為化比較治験
研究代表者：藤井正純 研究分担者：高橋史朗
- 4) 令和元年～令和3年度 日本医療研究開発機構：革新的医療シーズ実用化研究事業
研究課題：TP53ステータス遺伝子発現プロファイルによる乳がんの予後予測および治療効果予測法の開発
研究代表者：石岡千加史 統計解析責任者：高橋史朗
- 5) 令和2年～令和6年度 日本医療研究開発機構：医療研究開発革新基盤創成事業
研究課題：月経前症候群（PMS）に伴う精神症状/月経前不快気分障害（PMDD）を対象としたピリドキサミンの有効性及び安全性を検討する第Ⅱ相医師主導治験
研究代表者：武田卓 研究分担者：高橋史朗
- 6) 令和2年～令和4年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究（C）
研究課題：介護予防事業の評価における活動量計の活用
研究代表者：下沖収 研究分担者：高橋史朗
- 7) 令和2年～令和4年度 厚生労働省：科研費 長寿科学政策研究事業
研究課題：介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーション適応等についての研究
研究代表者：西村行秀 研究分担者：高橋史朗
- 8) 令和2年～令和3年度 日本医療研究開発機構：新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
研究課題：新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）肺炎患者に対するPAI-1阻害薬TM5614の有効性および安全性を検討する探索的Ⅱ相医師主導治験

- 研究代表者：張替秀郎 研究分担者：高橋史朗
- 9) 令和3年～令和4年度 日本医療研究開発機構：新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
研究課題：新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）肺炎患者に対するPAI-1阻害薬TM5614の有効性および安全性を検討する検証的Ⅱ相医師主導治験
研究代表者：張替秀郎 研究分担者：高橋史朗
- 10) 令和3年～令和5年度 日本学術振興会：科研費 基盤研究（C）
研究課題：看護基礎教育における情報セキュリティおよび情報倫理に関する教育方法の構築
研究代表者：小野保
- 11) 高橋史朗：岩手医学会 査読委員
- 12) 高橋史朗：日本癌治療学会「GIST診療ガイドライン改訂WG」委員
- 13) 高橋史朗：東北大学病院「病院臨床研究倫理委員会」委員
- 14) 高橋史朗：東北大学「認定臨床研究審査委員会」委員
- 15) 高橋史朗：日本がん臨床試験推進機構「プロトコール評価委員会」委員
- 16) 高橋史朗：東北臨床研究審査機構「共同臨床研究審査委員会」委員
- 17) 高橋史朗：日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍委員会 データ小委員会 委員
- 18) 高橋史朗：婦人科腫瘍学会 代議員・査読委員
- 19) 高橋史朗：岩手医科大学における臨床研究支援. 医学系大学倫理委員会連絡会議, 2021年6月5日, オンライン
- 20) 小野保：第22回日本医療情報学会看護学術大会 実行委員（2021年7月～2021年8月）
- 21) 小野保：看護人間工学会 理事, 評議員, 査読委員
- 22) 小野保：TOPIC盛岡NOC 幹事

物理学科

[学術論文（英文・原著）]

- 1) Sato, E., Yoshida, S., Takeda, K., Yoshida, R., Sato, Y., Yoshioka, K., Moriyama, H., Hagiwara, O., Matsukiyo, H., Enomoto, T., Watanabe, M.: Whole cancer-region enhancement using meglumine-gadopentetate-glucose solution and 7.0-T magnetic resonance imaging. *Magnetic Resonance Imaging* (2021)
- 2) Yamaguchi, S., Sato, E., Ieko, Y., Ariga, H., Yoshioka, K.: Development of a dose-rate dosimeter for x-ray CT scanner using silicon x-ray diode. *Rev. Sci. Instrum.* 92, 053103 (2021)
- 3) Yoshida, S., Sato, E., Oda, Y., Yoshioka, K., Moriyama, H., Watanabe, M.: Triple-sensitivity X-ray computed tomography using analog and digital amplifiers. *Med. Imag. Inform. Sci.* 38, 1-7 (2021)
- 4) Sato, E., Oda, Y., Yoshida, S., Yoshioka, K., Moriyama, H., Watanabe, M.: Near-infrared-ray computed tomography with an 808 nm laser beam and high spatial resolutions. *Rev. Sci. Instrum.* 92, 013702-1-9 (2021)
- 5) Sato, E., Oda, Y., Yoshida, S., Yayaguchi, S., Yoshioka, K., Moriyama, H., Hagiwara, O., Enomoto, T., Watanabe, M.: Variations in X-ray dose rate with copper filtration. *Ann. Rep.*

Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci. 55, 1-5 (2020)

- 6) Sato, E., Ichikawa, M., Chiba, T., Oda, Y., Yoshida, S., Yayaguchi, S., Yoshioka, K.: X-ray-dose-rate measurement using an ionization gap and a digital voltmeter. Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci. 55, 6-10 (2020)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 小松真：染色液のpHが対向電極間の放電による脱色に与える影響. 岩手医科大学教養教育研究年報. 55 : 11-16 (2020)

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 小松真：対向電極の水中絶縁破壊による脱色の定量計測. 令和3年電気学会全国大会. 2021年3月. 大阪.
- 2) 佐藤英一, 吉田宗平, 武田航太, 佐藤裕一, 吉岡邦浩, 森山穂高, 渡邊学：Hypoxic-cancer visualization using meglumine-gadopentetate-glucose solution and 7.0-T magnetic resonance imaging. 第121回日本医学物理学会学術大会. 2021年4月. 横浜.
- 3) 佐藤英一, 小田泰行, 吉田宗平, 佐藤裕一, 山口哲, 有賀久哲, 吉岡邦浩, 渡邊学：Triple-sensitivity high-spatial-resolution X-ray computed tomography using a 0.1-mm-focus tube and its beam-hardening effect. 第121回日本医学物理学会学術大会. 2021年4月. 横浜.
- 4) 佐藤裕一, 佐藤英一, 小田泰行, 吉田宗平, 吉岡邦浩：高空間分解能 808-nm近赤外線レーザーCTの開発. 第121回日本医学物理学会学術大会. 2021年4月. 横浜.

[国内学会発表 (地方会関係・一般講演)]

- 1) 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤裕一, 吉田宗平, 吉岡邦浩：アナログ増幅器を利用したトリプルエネルギーX線CT：第53回日本生体医工学会東北支部大会：2021年1月. 仙台.
- 2) 佐藤裕一, 佐藤英一, 小田泰行, 吉田宗平, 吉岡邦浩. 808nmレーザーを用いた高空間分解能近赤外線CTスキャナーの開発. 第53回日本生体医工学会東北支部大会. 2021年1月. 仙台.
- 3) 佐藤英一, 小田泰行, 佐藤裕一, 吉田宗平, 吉岡邦浩. ガドペンタ酸メグルミン・グルコースとMRIを用いた癌の造影. 第53回日本生体医工学会東北支部大会. 2021年1月. 仙台.

化学科

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) *Tchoukoua, A., *Douanla, M., H., *Ariefita, N. R., Yoshida, J., *Ito, Y., *Ngadjui B., T., *Shiono, Y.: Triterpene saponins from the roots of *Acacia senegal* (L.) Willd. Fitoterapia. 151 : 104859 (2021)
- 2) *Tchoukoua, A., *Tomfeun, Nganou, S., C., *Dabole, B., Yoshida J., *Ito, Y., *Ngadjui B., T., *Shiono, Y.: Polythosides A and B, two new triterpenoid saponins from the roots of *Acacia polyacantha* Willd. (Mimosaceae). Phytochem. Lett. 43 : 190-195 (2021)
- 3) *Sofian, F., F., *Warahapsari, A., F., Yoshida, J., *Ito, Y., *Koseki, T., *Shiono, Y.: Two new octahydronaphthalene derivatives, trichodermic acids C and D produced by *Trichoderma* sp.

HN-1. Nat. Prod. Res. (in press)

[学術論文 (英文・その他)]

- 1) Hirakawa, M., *Sato, YI., *Mchonde, G., Higashio, H., Saino, T.: 3D image reconstruction techniques using STEM for arteriole and venule morphological analyses. Ann. Rep. Iwate Med. Univ. Center Lib. Arts Sci. 55 : 115-125 (2020)

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 吉田潤, *上杉祥太, *箱崎真友佳, *藤澤日土美, *伊藤芳明, *木村賢一: 肝細胞糖産生を抑制するヒドロキシ脂肪酸ricinoleic acid類の構造活性相関研究. 日本農芸化学会2021年度大会. 2021年3月. 仙台 (Web開催).

[その他 (教育・研究講演等の社会活動・研究費等)]

- 1) 平成30年～令和2年度 日本学術振興会: 科研費 若手研究
研究課題: 食材ポリアセチレン化合物による糖新生抑制効果と統合的代謝調節機構の解析
研究代表者: 吉田潤
- 2) 令和元年～3年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究 (C)
研究課題: マスト細胞の脱顆粒応答は分泌刺激の種類により変化するか?—イメージングによる解析—
研究代表者: 東尾浩典 研究分担者: 齋野朝幸, 横山拓矢
- 3) 令和3年～5年度 日本学術振興会: 科研費 基盤研究 (C)
研究課題: 食材ポリアセチレン化合物による肝細胞エネルギー代謝制御機構の統合的解析
研究代表者: 吉田潤 研究分担者: 木村賢一, 伊藤芳明
- 4) 令和元年～3年度 日本学術振興会: 二国間交流事業 共同研究
研究課題: エンドファイトを利用したカメルーンにおけるバナナ病原菌の防除を目指した共同研究
研究代表者: 塩野義人 日本側共同研究者: 俵谷圭太郎, 佐藤智, 吉田潤, ナナン ルディアント アリエフタ, 中村智紀, 横山靖洋
- 5) 令和2年度 三井住友信託銀行: 2020年度公益信託伊藤徳三ひまし研究基金
研究課題: 遺伝子変異酵母株の生育回復を基盤としたひまし油誘導体の糖代謝・免疫調節機構の解明と機能性開発
研究代表者: 吉田潤 研究分担者: 木村賢一, 上杉祥太
- 6) 令和3年度 圭陵会学術振興会: 共同研究助成
研究課題: 睡眠時無呼吸症候群モデル動物の頸動脈小体に生じる神経伝達増強機構の解明
研究代表者: 横山拓矢 研究分担者: 齋野朝幸, 東尾浩典
- 7) 令和3年度 伊藤製油株式会社受託研究費
研究課題: 有機化合物の細胞賦活作用の解析
研究代表者: 吉田潤
- 8) 吉田潤: ひまし油由来のヒドロキシ脂肪酸リシノール酸の生物活性と機能性評価. 伊藤製油株式会社セミナー. 2020年12月4日. 四日市.
- 9) 吉田潤: 日本農芸化学会東北支部第155回大会世話人 (2020年4月～2021年3月)

- 10) 吉田潤：日本農芸化学会東北支部第155回大会 受賞講演・ミニシンポジウム・特別講演世話人・座長. 2021年3月17日. 盛岡 (Web開催).

生物学科

[学術論文 (英文・原著)]

- 1) Abe, H., *Sato-Okoshi, W.: Molecular identification and larval morphology of spionid polychaetes (Annelida: Spionidae) from northeastern Japan. *ZooKeys* 1015 : 1-86 (2021)
- 2) Abe, H., *Sato-Okoshi, W.: Novel symbiotic relationship between a spionid polychaete and *Lingula* (Brachiopoda: Lingulata: Lingulidae), with description of *Polydora lingulicola* sp. nov. (Annelida: Spionidae) . *Zoosymposia* 19 : 103-120 (2020)

[学術論文 (和文・原著)]

- 1) 阿部博和, *谷合祐一, *押野明夫, *浜口昌巳, *梶原直人, *神山孝史：宮城県万石浦に造成された人工干潟におけるアサリ *Ruditapes philippinarum* の窒素・炭素安定同位体比. *南紀生物*. 63 : 94-100 (2021)
- 2) *金谷弦, *多留聖典, *久保弘文, 阿部博和, *磯村尚子, *海上智央, *伊藤萌, *福森啓晶, *青木美鈴, *鈴木孝男：みちのくベントス調査隊, 南の島へ行く—2019年10月沖縄島羽地内海のベントス相調査 (予報) 一. *みちのくベントス*. 5 : 41-51 (2021)
- 3) 阿部博和, *佐藤太津真, *浜口昌巳, *梶原直人, *神山孝史：福島県松川浦のアサリにおける2015年8月の *Perkinsus* 属原虫の感染状況. *みちのくベントス*. 5 : 24-32 (2021)
- 4) 阿部博和, *佐藤太津真, *浜口昌巳, *梶原直人, *神山孝史：福島県松川浦における2015年～2016年のアサリ浮遊幼生の発生状況. *みちのくベントス*. 5 : 16-23 (2021)
- 5) 三枝聖, *藤田さちこ, *高宮正隆, *出羽厚二, *青木康博：センチニクバエ *Boettcherisca peregrina* の休眠蛹化と温暖環境飼育における積算時度 (ADH). *法医学の実際と研究*. 63 : 83-85 (2020)
- 6) 阿部博和, 菅孔太朗, 松政正俊, *鈴木孝男, *木下今日子, *柚原剛：宮古湾津軽石川河口干潟における2019年・2020年干潟ベントス調査結果とベントス群集の長期変化. *岩手医科大学教養教育研究年報*. 55 : 49-64 (2020)
- 7) 内藤雪枝, 松政正俊, 三枝聖, 阿部博和. 初年次学生支援としての生物教育における取り組み. *岩手医科大学教養教育研究年報*. 55 : 43-48 (2020)
- 8) 内藤雪枝, 松政正俊, 三枝聖, 阿部博和：成績不振学生早期発見のための初年次修学データの分析. *岩手医科大学教養教育研究年報*. 55 : 39-42 (2020)
- 9) 松政正俊, 高木恵：ここ数年の教養教育センターの取り組みと今後の見通し. *岩手医科大学教養教育研究年報*. 55 : 27-37 (2020)
- 10) 松政正俊, 三枝聖, 阿部博和, 内藤雪枝, 内金崎智, 高橋広輝：COVID-19感染拡大防止のためのオンラインでの講義・実習の実施と問題点. *岩手医科大学教養教育研究年報*. 55 : 17-26 (2020)

[学術論文 (和文・その他)]

- 1) 菅孔太朗：書評「海底の支配者 底生生物 世界は「巣穴」で満ちている」清家弘治 著, 新書,

- 190頁, 2020年2月, 中央公論新社, 東京. 日本ベントス学会誌 75: 74-75 (2020)
- 2) 阿部博和, *小林元樹, *富岡森理: 北の海の語り 釣り餌の定番「ゴカイ類」の多様性とくらし. 利尻島の水産だより. 118: 5 (2021)
 - 3) 阿部博和: 「奥田四郎博士が見たマドカスピオ」の正体を求めて. 令和元年度厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助研究調査研究報告書. pp. 1-6 (2021)

[国際学会発表 (一般講演)]

- 1) Kiyoshi Saigusa, *Masataka Takamiya, *Sachiko Fujita and *Yasuhiro Aoki: A case in which postmortem interval was estimated by diapause of the warm season flies. 100. Jahrestagung der Deutschen Gesellschaft für Rechtsmedizin (DGRM). September 14, 2021. München, Germany. Online

[国内学会発表 (全国・招聘講演等)]

- 1) 松政正俊: 岩手県沿岸の汽水域の変化: 特に宮古湾と広田湾の干潟について. オンライン・ライブ配信シンポジウム「東日本大震災からの再生-沿岸環境の変化10年と今後の課題」(主催: 応用生態工学会東北, 共催: 日本生態学会東北地区会・日本景観生態学会・その他4学協会等, 協賛: 三井物産環境基金・アースウォッチジャパン, 後援: 国土交通省東北地方整備局・その他5団体). 2021年9月. 仙台・オンライン.

[国内学会発表 (全国・一般講演)]

- 1) 菅孔太郎: ゴカイ科多毛類(環形動物門)の浮遊幼生の定着過程. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 2) 菅孔太郎, 阿部博和, *佐藤正典, 松政正俊, *金谷弦, *鈴木孝男: 小友浦の干潟から得られた *Neoamphitrite* 属(環形動物門フサゴカイ科)の1未記載種. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 3) 菅孔太郎, 阿部博和: 日本産 *Nephtys* 属2種(環形動物門: シロガネゴカイ科)の分類と地理的分布の再検討. 第56回日本動物分類学会大会. 2021年6月. オンライン.
- 4) 阿部博和, 松政正俊. 開催趣旨: 小友浦の概要と要望書提出の経緯. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 5) 阿部博和, 菅孔太郎, 松政正俊, *鈴木孝男, *木下今日子, *金谷弦: 小友浦におけるベントス群集の長期変化. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 6) 阿部博和: 環形動物の環: 幼生研究から広がる分類・生態・進化学. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 7) *自見直人, *滋野修一, *星野修, *波々伯部夏美, *幸塚久典, 阿部博和, *前野哲輝: 魚を襲う *Eupolyodontes* 属多毛類における非常に発達した眼と中枢神経系. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 8) *大坂雄一郎, *安倍聡史, 阿部博和, *田中正敦, *小野里磨優, *大越健嗣, *西垣敦子. イワムシ糞中の多環芳香族炭化水素の分布と起源. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 9) *西榮二郎, 阿部博和, *自見直人, *田中克彦, *巻口範人: ゴカイ礁を形成するウポポイカン

ムリゴカイ（仮称）の分類と生態. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.

- 10) 阿部博和, 菅孔太朗, 松政正俊, *鈴木孝男, *木下今日子, *柚原剛: 巨大防潮堤建設時・建設後における岩手県津軽石川河口干潟のベントス群集の長期変化. 第68回日本生態学会大会. 2021年3月. オンライン.
- 11) 松政正俊, 阿部博和, 菅孔太朗, *木下今日子, *柚原剛, *村山恒也, *日高裕華, *多留聖典, *金谷弦, *鈴木孝男: 三陸の礫干潟・小友浦の軌跡と現在. 2021年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 2021年9月. オンライン.
- 12) 松政正俊, 阿部博和, 菅孔太朗, *木下今日子, *柚原剛, *村山恒也, *日高裕華, *鈴木孝男: 津波で干潟に戻った小友浦（岩手県陸前高田市）に発達しつつあった底生動物群集の特性. 第68回日本生態学会大会. 2021年3月. オンライン.

[国内学会発表（地方会関係・一般講演）]

- 1) *長崎礼資, *片桐耕, *岩淵巽, 阿部博和, *小林元樹, *西谷豪, *大越和加: 東北地方太平洋沖地震と津波による攪乱が女川湾湾奥のマクロベントス群集に与えた影響とその変化過程について (2007-2020). 令和2年度日本水産学会 東北支部大会. 2020年10月. オンライン.

[その他（教育・研究講演等の社会活動・研究費等）]

- 1) 令和2年～4年度 独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費
研究課題: 海産環形動物絶滅危惧種の特定のための網羅的DNAバーコーディング: 希少種の探索, 新種記載と分類の整理, および分布情報の集積の促進
研究代表者: 阿部博和
- 2) 平成31年～令和3年度 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究
研究課題: 貝類養殖における害虫多毛類の誘引・着底・穿孔のメカニズムとその起源を探る
研究代表者: 阿部博和
- 3) 令和3年度 公益財団法人屋久島環境文化財団 令和3年度屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業
研究課題: 屋久島における多毛類の多様性調査
研究代表者: 阿部博和
- 4) 阿部博和: 岩手県 いわてレッドデータブック改訂検討委員会専門部会 委員(2021年6月～)
- 5) 阿部博和: 日本ベントス学会 英文誌Plankton & Benthos Research編集委員会 編集委員(2021年4月～)
- 6) 阿部博和: 環境省 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 海域その他無脊椎動物分科会 検討委員(2019年8月～)
- 7) 阿部博和: 日本ベントス学会 自然環境保全委員会 委員(2019年4月～)
- 8) 阿部博和: 東邦大学理学部 東京湾生態系研究センター 訪問研究員(2016年4月～)
- 9) 阿部博和: 日本ベントス学会 奨励賞 受賞(2021年9月)
- 10) 阿部博和: 日本ベントス学会 2021年度日本ベントス学会の若手の会 世話人(2021年9月)
- 11) 阿部博和: 日本ベントス学会 自然環境保全委員会主催自由集会「埋め立てられた重要湿地: 津波で干潟に回帰した小友浦に形成されていたベントス相」コンピーナー(2021年9月)
- 12) 令和3年～5年度 日本学術振興会 科学研究費補助金基金. 基盤研究(C)

- 研究課題：寒暖境界期および寒冷期の死後経過時間推定精度向上に資する法昆虫学的指標の探索
- 研究代表者：三枝聖
- 13) 令和元年～4年度 日本学術振興会 科学研究費補助金基金 基盤研究 (C)
研究課題：ライバル雄の妨害がドライブするシオマネキ類の配偶者選択におけるシグナル系の複雑化
研究代表者：*竹下文雄 研究分担者：松政正俊
- 14) 松政正俊：農林水産技術会議 脱炭素・環境対応プロジェクト 農林水産分野における炭素吸収源対策技術の開発「ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発」に参画。(2020年1月～2024年)
- 15) 松政正俊：干潟・内湾・河口域のワイズユース 鹿島平和研究所研究会・北太平洋海洋生態系と海洋秩序・外交安全保障体制に関する研究会 第11回話題提供 (2021年4月)
- 16) 松政正俊：岩手県立博物館 第81回自然観察会 企画・運営 (2021年5月)
- 17) 松政正俊, 阿部博和, 菅孔太郎：岩手県立博物館 第81回自然観察会「干潟の生きものを観察しよう」講師 (2021年5月)
- 18) 松政正俊, 阿部博和, 菅孔太郎：環境省 令和3年度東北地方太平洋沿岸地域生態系監視調査業務 有識者 (2021年6月～2022年3月) (調査責任者：松政)
- 19) *齋藤修, *小山田拓郎, *川口祐希, *田中仁, *小笠原敏記, 松政正俊, *小澤宏樹, *加藤英紀, *大塚哲哉, *星上幸良：根浜海岸砂浜再生事業における養浜工効果影響解析. 日本沿岸域学会研究討論会講演概要集 (CD-ROM) (2021)
- 20) 松政正俊：岩手生態学ネットワーク代表 活動プログラム「人と自然と生態学」の運営 (日本生態学会東北地区会から支援). 2021年度.
- 21) 松政正俊：広田湾マガキ天然採苗試験 (岩手県水産技術センター・広田湾漁協米崎・小友支所と共同) (2012年～)
- 22) 松政正俊：岩手県いわてレッドデータブック改定検討委員会専門部会 委員 (2020年1月～改定の完了まで)
- 23) 松政正俊：岩手県立博物館協議会 委員 (2019年7月～2021年6月, 2021年7月～2023年6月)
- 24) 松政正俊：岩手県根浜海岸復興養浜技術検討委員会 委員 (2017年5月～)
- 25) 松政正俊：日本生態学会東北地区会 委員 (2020年4月～2022年3月)
- 26) 松政正俊：日本ベントス学会 運営委員 (2019年4月～2021年3月, 2021年4月～2023年3月)
- 27) 松政正俊：熊本大学くまもと水循環・減災教育研究センター沿岸環境部門 学外協力研究者 (2016年5月～)
- 28) 松政正俊：Plankton and Benthos Research 編集委員 (2019年4月～2021年3月, 2021年4月～2023年3月)
- 29) 松政正俊：Scientifica編集委員 (Marine Biology)